

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年 6月21日 (金)

2 確認箇所

- ・ T. P. 33.5m盤
- ・ 免震重要棟集中監視室

3 確認項目

1～3号機窒素封入設備他取替工事における1号機系統試験の状況

4 確認結果の概要

原子炉格納容器内の不活性雰囲気を維持するために、窒素封入設備を用いて、1～3号機原子炉格納容器内に窒素を充填しているが、窒素封入設備の信頼性向上を目的として、窒素ガス分離装置A、Bの取替並びに専用ディーゼル発電機の新設、1～3号機原子炉圧力容器封入ラインの2重化が実施されている。(図1)

6月11日より1号機において系統試験が開始されたことから、試験状況並びに新設窒素ガス分離装置、専用ディーゼル発電機の設置状況を確認した。

- ・ 系統試験は10時15分から開始され、2重化された原子炉圧力容器ヘッドスプレイライン(RVHライン)から窒素封入が実施されるとともに、試験開始前から窒素を封入しているラインであるジェットポンプ計装ラックライン(JPライン)の窒素封入量変更が行われた。

RVHライン：0Nm³/h→15Nm³/h

JPライン：30Nm³/h→15Nm³/h

- ・ 確認した範囲では系統試験時に異常等は確認されず、試験終了に伴い、11時57分に窒素封入量は試験前の状態に戻された。

RVHライン：15Nm³/h→0Nm³/h

JPライン：15Nm³/h→30Nm³/h

- ・ 窒素封入量変更後に新設窒素ガス分離装置並びに専用ディーゼル発電機の状況を確認したが、異常等は確認されなかった。(写真1)

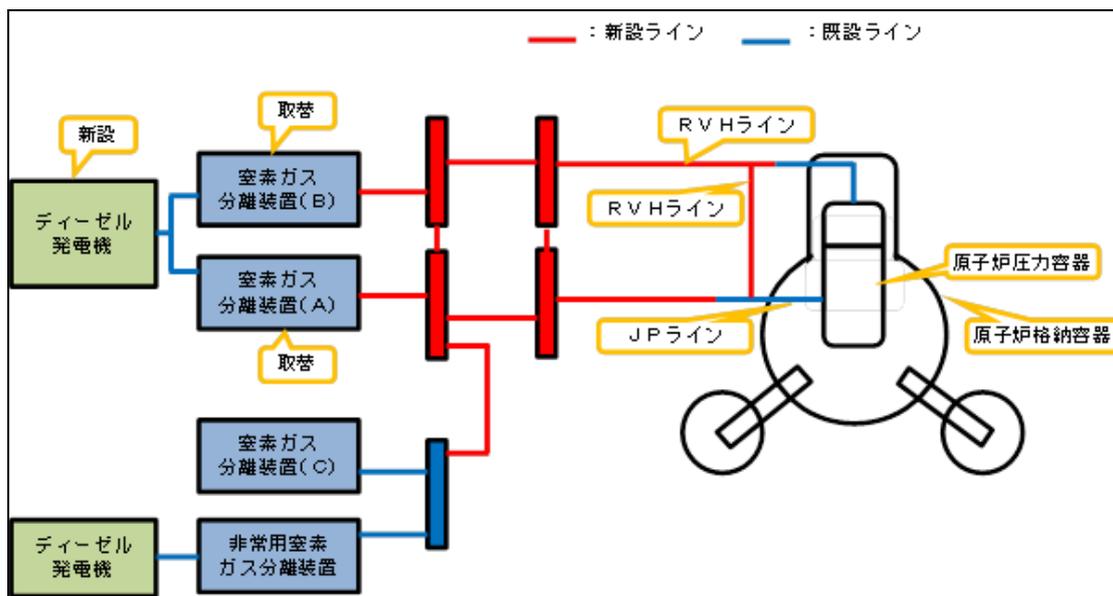


図1 信頼性向上後の窒素封入設備イメージ図（1号機分）



(写真1-1)



(写真1-2)

- 5 プラント関連パラメータ確認
 各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。